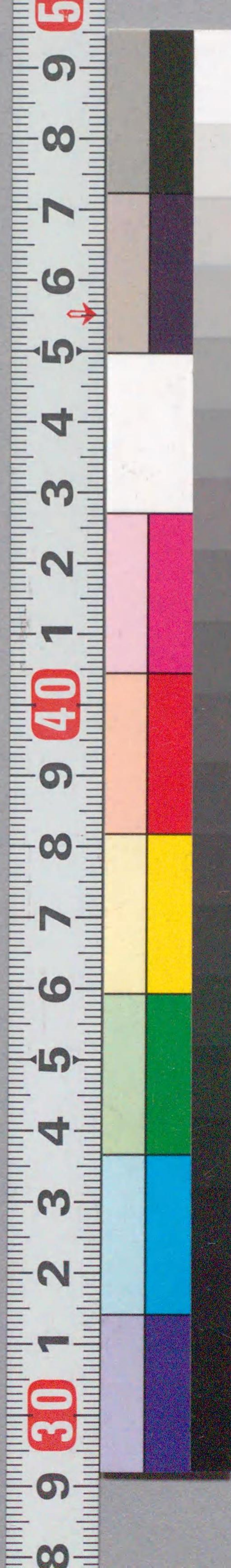
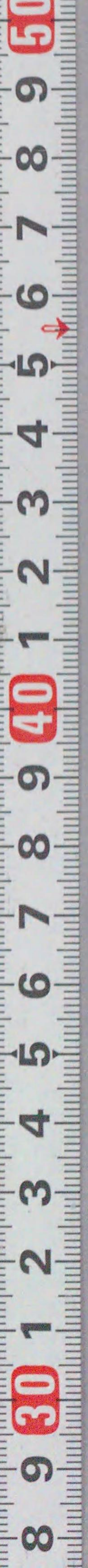
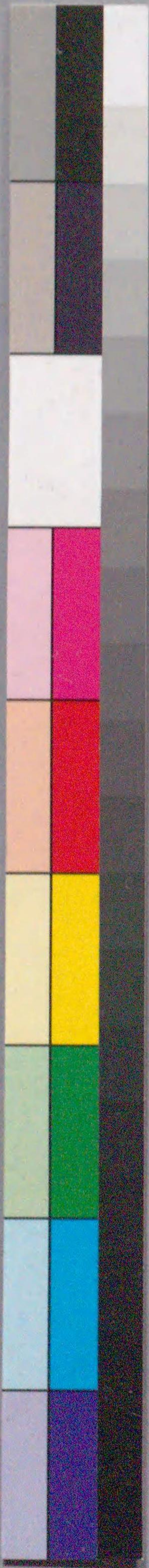
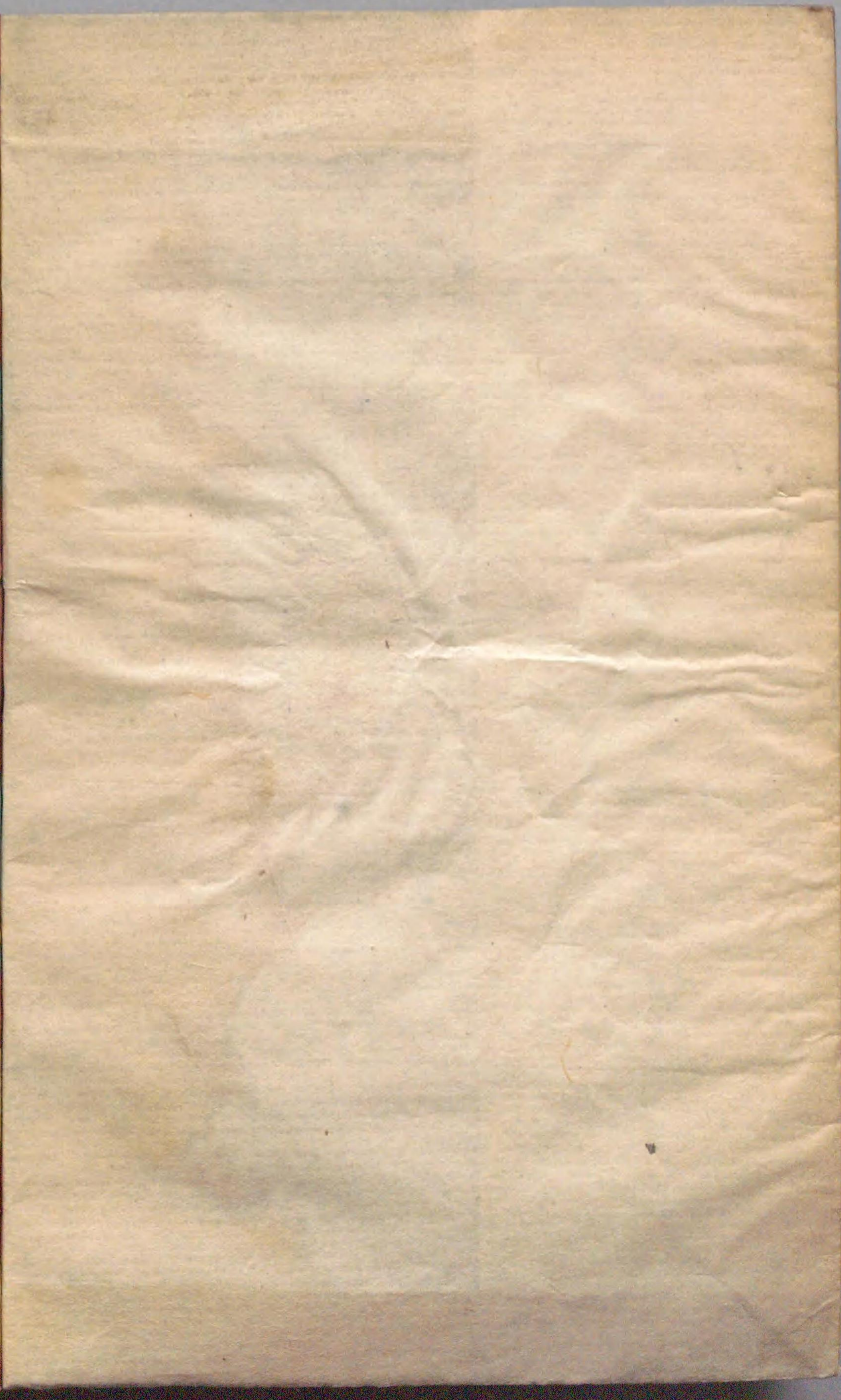


国立国会図書館 三国志画伝 207-898



ガラス使用



50
49
48
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
34
33
32
31
30
29
28
27
26
25
24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8



鞞鞞番戎夷
寥食亡昔節
莫此戲方遊

三國志畫傳

第四編八冊

壹之卷

十返舎一九編

歌川國安畫

書坊榮久堂上梓

壬辰孟春發行

一 三国志画傳四編序

魏蜀の二國を鑑る。魏、今の河南の地、魏の國の

時、封府は都して大梁と號を曹操の子曹丕文帝と

稱す。孫權を建業に構ゆ。應天府より自位、即

ち大帝と號す。蜀は今の四川、則ち徐州の地、此國、岷、沱、黒、白

の四水、東西南北、分流する故、小名と云、玄德、自漢中王と

稱す。後帝位、つぎ成都、小都して國と號す。漢と云、河北

の今の北京、淮南、今の淮安、精、末、古、國を

此編、徐州の呂布、没落す。車騎將軍、董、美、の、隱、謀

壹

露頭小沛の城合戦下邳の城関羽の降参玄德
 河北潜影より復び汝南小義兵と起す汝南と此表終る
 續いて五編の孫権兵権を嗣て江東を據畫曹操
 袁紹との會戦官渡小發石車の計畧身巢小兵糧攻
 燒倉亭小伏兵を破り皇叔荊州の敗走袁譚冀州
 と争ふまゝなりて其の餘の六編小漢の排役事敏系くして
 画のおりてとその文流前後遅速せしものヨリくるべし
 とも校正精しく考ふる所の聊も齟齬なり高覧の諸君
 子よしく照し合せて鑑察志あるとの小事志の程
 天保三壬辰年正月吉日 十返舎一九誌(頁)



字本初
 白相魁偉
 行步有
 威登四
 世三公
 門下多故吏武
 藝超群汝南汝陽
 人漢司徒袁安
 孫袁逢子初司隸
 校尉後至大將軍

渤海太守袁紹

50
49
48
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
34
33
32
31
30
29
28
27
26
25
24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8

三国志四卷

漢朝臣忠壯存奸廟設無
所顧忌立心行事以不味
天理為主暗



賜陛下
密詔雖運
籌不遂惜哉

將軍
董承

形容如垂柳心緒似尖劍諺云艷女
猶毒蛇見人害人婿婦不正者必以
媚起騷乱基英雄猛夫為此輒

命者多

婿
雲英



三国志四卷



西人板肋虬髯形雄壯左右臂奉十
 斤初從張室為
 黃巾賊近頃
 寓於身臥牛
 常慕
 良主
 于竟從仕
 關羽有威
 名

臥牛山
 周倉



字
 正平
 才学
 高天文地理書
 無不通云九流三教
 事無不曉云性嗜
 酒不能忍言必傷人
 見曹操赤裸罵諾臣憍慢于逐殞命

道
 士
 稱
 衡



字子龍常山真定人
面赤眼如星虎鬚逆
堅叫声如霹靂竿每
持六角
捧擊
人後
官至
鎮東
將軍

常山
趙雲

倚子
漢靈
帝時
景師所
造木胎渾金飾之中倚為銀花
雲龍餘皆金釘裝釘上陳緋綠
金襴四角各垂紅絲絛結扮鎔



董貴妃

50
49
48
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
34
33
32
31
30
29
28
27
26
25
24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1



呂布侯成を
攻撃を
敷手



魏侯成を
謀逆を
企つ



50 49 48 47 46 45 44 43 42 41 40 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

ついでに... 曹操の... 呂布の... 討伐... 曹操... 呂布... 討伐... 曹操... 呂布... 討伐...



曹操 呂布 討伐



この... 曹操... 呂布... 討伐... 曹操... 呂布... 討伐... 曹操... 呂布... 討伐...





50
49
48
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
34
33
32
31
30
29
28
27
26
25
24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8



不破
名古屋

詔染遠山鹿子 三編 歌川貞画
先年より賣買中一河見小れ方初編二編ハ揚屋の場
より山ニテ館の半小一筆ととて今年あつて
三編四編ハ名古屋ガ本手ハの續より大津又平の住
家小至れば相かたむせ所ハとめの程奉希い

小説梅花扇 全八冊 前北齋 爲一翁画

か子さま方おむんしの和衣内のその後朱一貴とつてい人
六安との悪王とてろろを庵の給さけしるされとせん漢字を
つて物知りありし作あつて狂言の浄瑠璃の中あつて
ころろと給あつてのあつて合巻あつてのあつて

江戸より町おぢ橋角繪冊子同丸 山本屋平吉板
右兩種作者 柳亭種彦



50
49
48
47
46
45
44
43
42
41
40
39
38
37
36
35
34
33
32
31
30
29
28
27
26
25
24
23
22
21
20
19
18
17
16
15
14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

三國志畫傳

十返舎一九編
歌川國安画
四編上帙後

武陽書物司
山本栄久堂發販

芳町角

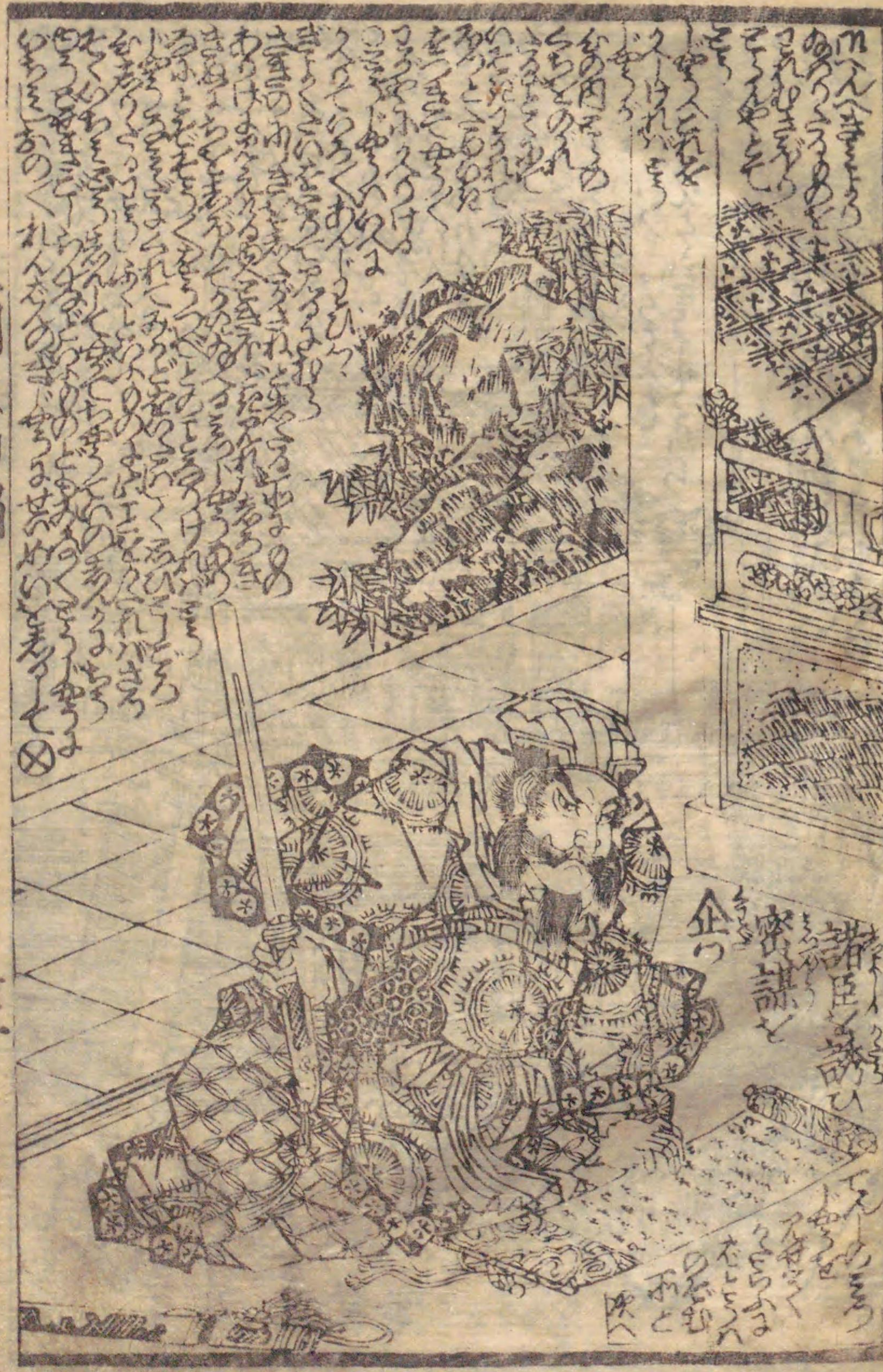


三國志の四編



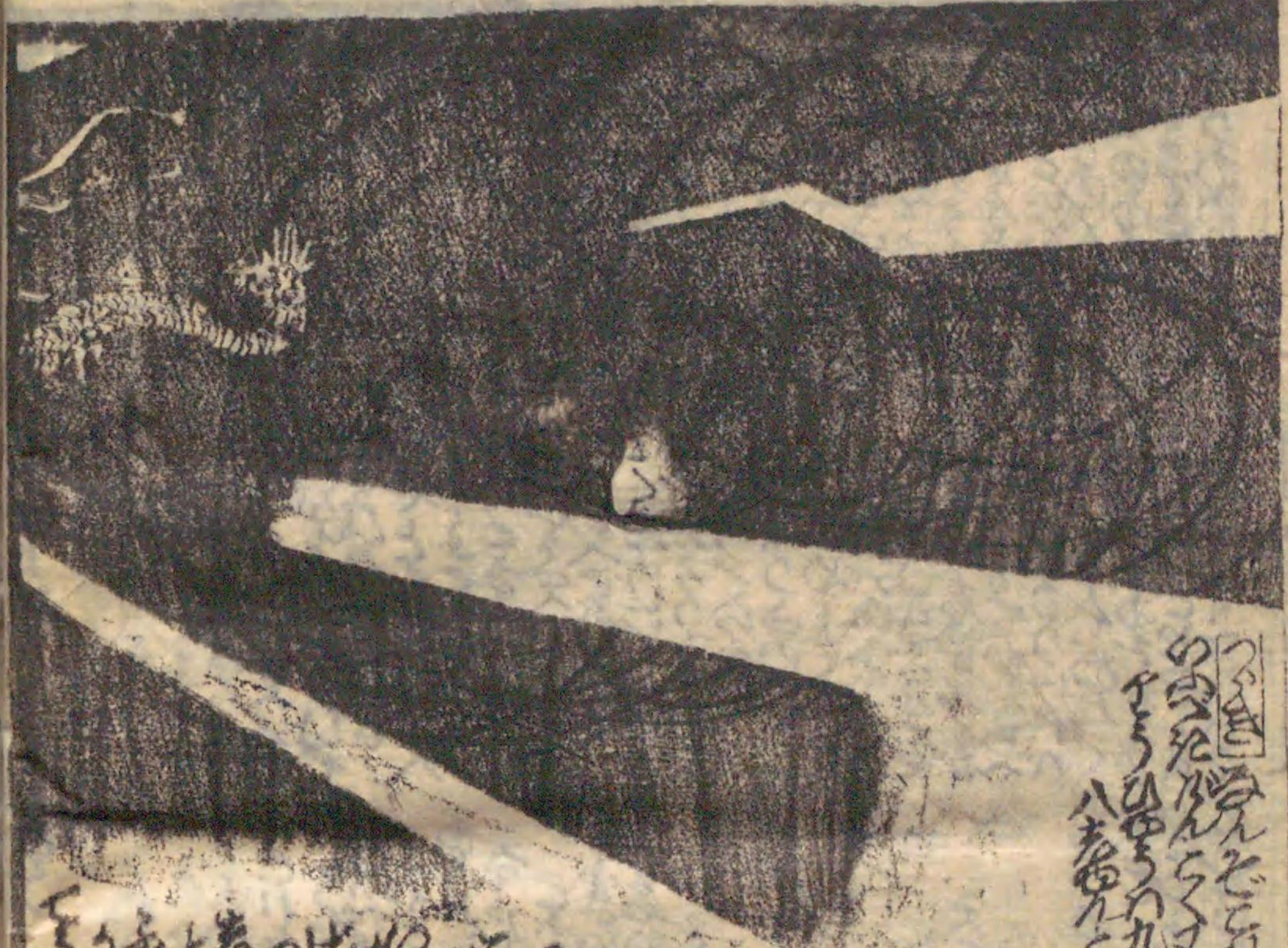
王御衣
賜を
疑
通る







Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a commentary or narrative related to the dragon illustration. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes various characters and symbols.



Handwritten Japanese text in vertical columns, continuing the commentary or narrative from the left page. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes various characters and symbols.





紀綱
斬

建安四年六月...
...
...

十六
...
...
...



...
...
...

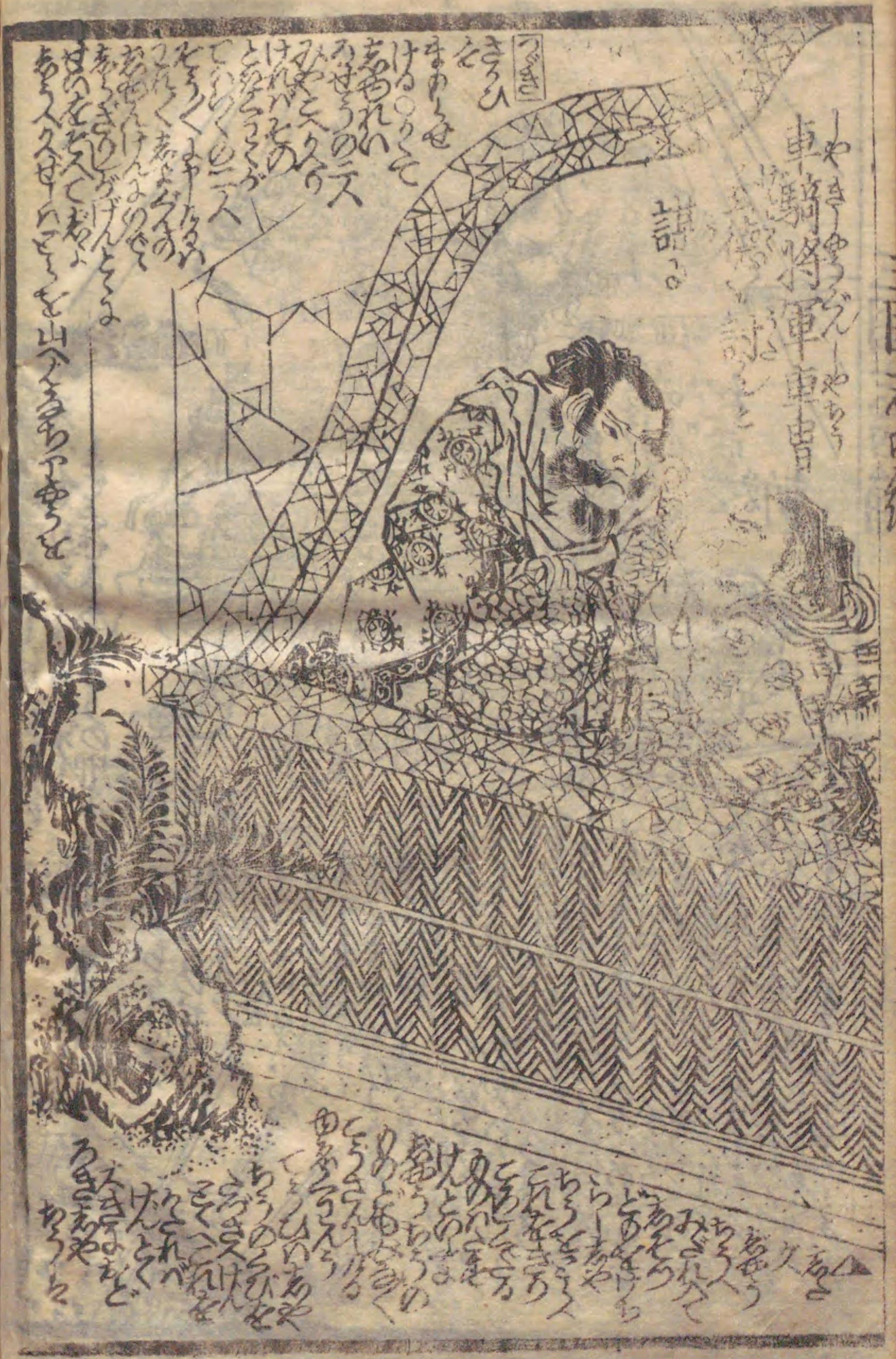
徐
赴
...
...





三國志の四回

十二



車騎將軍車中

詰





大... 評定... 吉... 紹... 評定... 大... 吉... 紹... 評定... 大... 吉... 紹... 評定... 大... 吉... 紹... 評定...

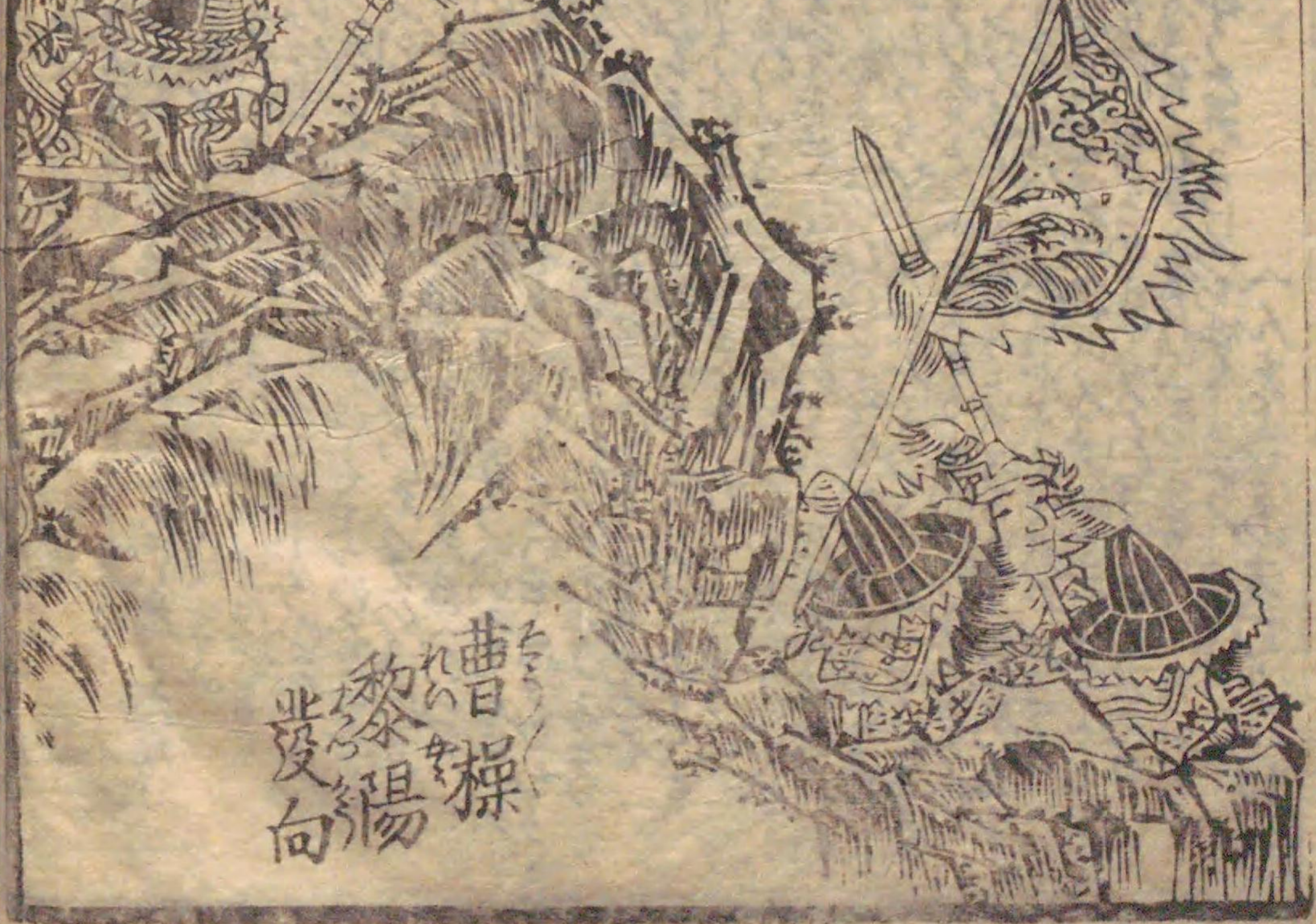


大... 評定... 吉... 紹... 評定... 大... 吉... 紹... 評定... 大... 吉... 紹... 評定...



8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50

かやくのあか... せいのま... 十月... 大... 勢... 勢... 勢...



曹操 魏 蜀 漢 魏 蜀 漢

こころ... せいのま... 十月... 大... 勢... 勢... 勢...





207
18
898

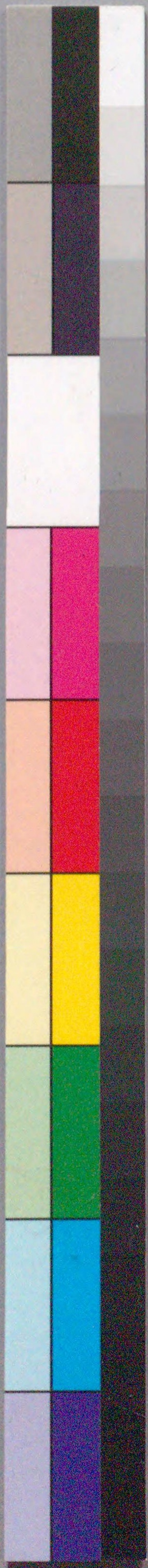
天保三辰春新刻牌

<p>美艶仙女香 香同 及本氏</p>	<p>菊壽童 山棟 後日 香蝶樓國貞画</p>	<p>かゝる 三國志 墨川亭雪齋作 歌川豊国画</p>	<p>吾妻花 花緑 二子傾城 同 画</p>	<p>回回 戲場 鶴屋南北作 五渡亭國貞画</p>
<p>江戶町河岸親仁橋角 栄山本平吉板</p>	<p>國性爺 合戦 歌川國虎画</p>	<p>梅曆舛 草紙 歌川國安画</p>	<p>春霞 乃廓 歌川国芳画</p>	<p>風流列女傳 三編 歌川豊国画</p>

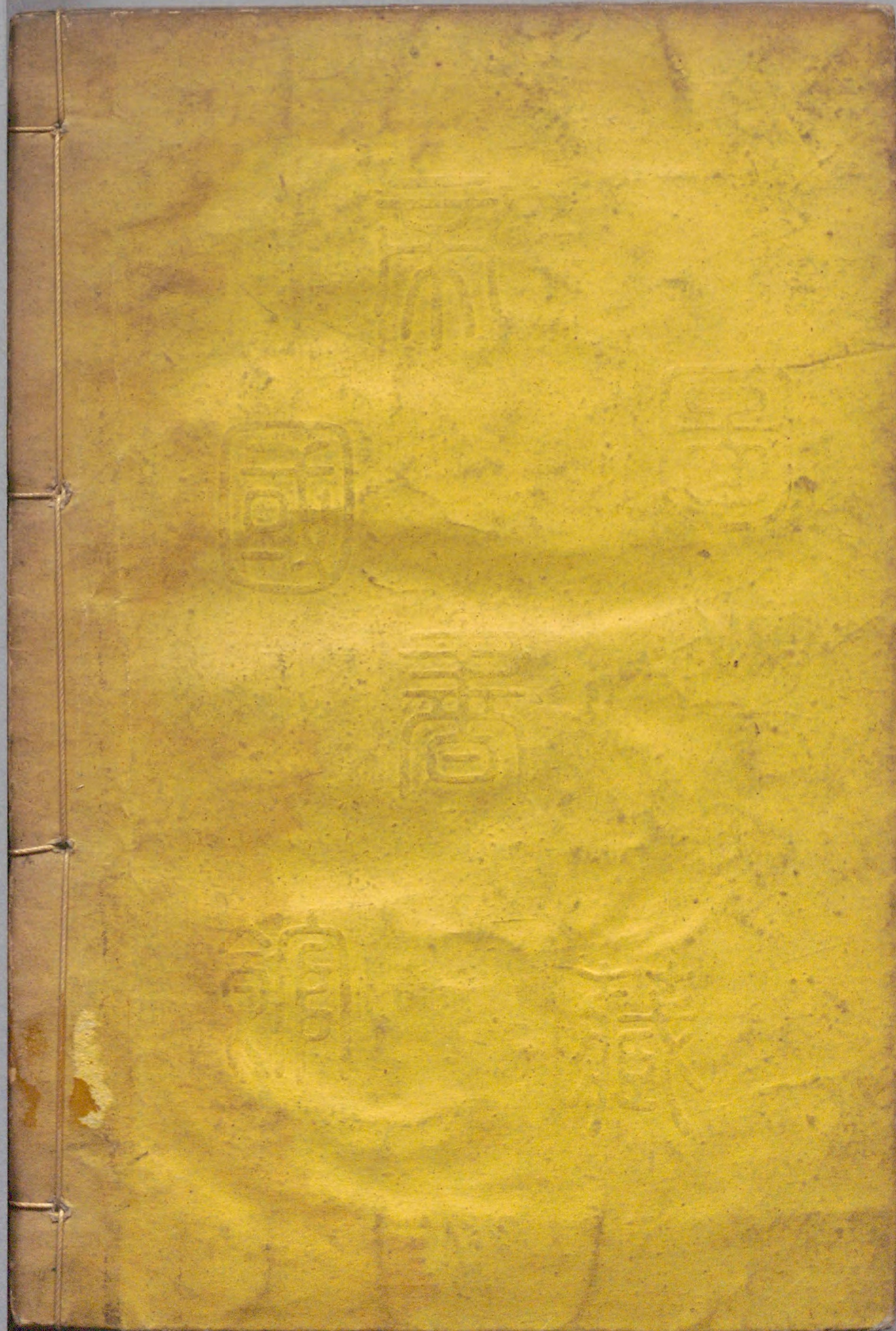
十返舎一九編

揚武將軍
張甫
任え

歌川國安画



国立国会図書館 三国志画伝 207-898



ガラス使用

